

# 第5回グッドプラクティス 最優良取組事例 (環境大臣賞)

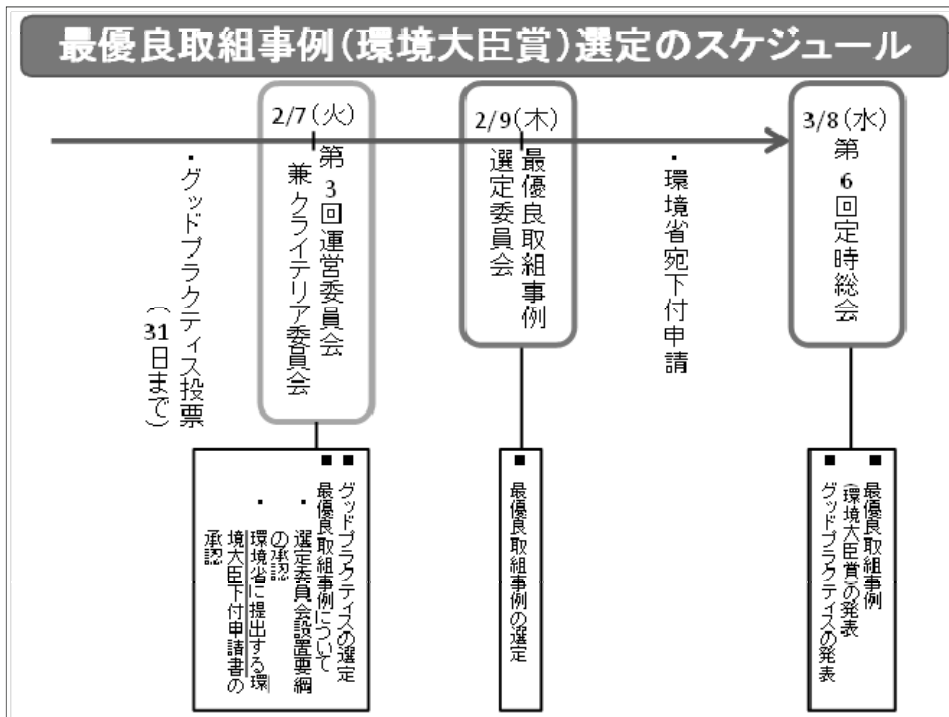
## 【趣旨】

- 21世紀型の新しい持続可能な経済社会を日本が世界に先駆けて構築していくためには、持続可能な社会の形成に寄与する分野への資源配分の充実が不可欠であり、そこでは金融は極めて大きな役割を担う。
- このような問題意識を共有し、取組の輪を広げていくことを目的とした「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）」が平成23年に策定され、各署名金融機関等において原則に沿った取組が進められているところ。
- 各署名金融機関等の一層の取組意欲促進のため、本年選定されたグッドプラクティスの中から最優良取組事例を選定し、環境大臣賞を付与することとした。

## 【選定過程】

- 第3回運営委員会において、最優良取組事例選定委員会の設置及び環境省宛環境大臣賞下付申請の実施を決定。（平成29年2月7日）
- 外部有識者による最優良取組事例選定委員会の開催。（平成29年2月9日）

※第3回運営委員会時資料（資料6－1）



### 【最優良取組事例選定委員会 委員】

- 委員長 末吉 竹二郎 氏 (UNEP FI 特別顧問)
- 委員 小林 光 氏 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授)
- 委員 水口 剛 氏 (高崎経済大学 経済学部 教授)
- 委員 奥山 祐矢 氏 (環境省 総合環境政策局 環境経済課長)

### 【選定基準】

- ① 先進性がある。
- ② 独自性がある。
- ③ 社会へ与える影響が大きい。
- ④ ステークホルダーへの意識改革を促す。
- ⑤ (地場) 産業発展への貢献につながる。
- ⑥ 継続性がある。
- ⑦ 他の金融機関と連携している又は連携が可能である。
- ⑧ 実績 (販売数や販売額等) がある。
- ⑨ 地域性がある。
- ⑩ グローバルな広がりを持つ。

# 最優良取組事例（環境大臣賞）

## あましんグリーンプレミアム

尼崎信用金庫

「あましん グリーンプレミアム」は、営業エリア内の法人・個人・団体を対象に環境改善に寄与する技術や製品・工法・取組みやアイデアにスポットをあて、当金庫独自の表彰を行い積極的に発信していくことを通じて、環境文化の創造に繋げて行くことを願い平成23年に創設し、今年度で第6回目の実施となりました。

当金庫は、今後も地域金融機関として商品・サービスの提供や地域貢献活動を通じて、地域の環境保全にも主体的な役割を担ってまいります。

### ■過去の応募件数と受賞者数

	応募総数			受賞者数
	環境事業部門	環境活動部門	環境アイデア部門	
第1回(H23年度)	116	79	26	7
第2回(H24年度)	114	74	29	6
第3回(H25年度)	113	57	37	6
第4回(H26年度)	133	67	41	4
第5回(H27年度)	107	68	30	4
第6回(H28年度)	143	78	51	5

これまでに、延べ726件の応募を受付、32件の取組事例を表彰してきました。


毎年実施している授賞式では歴代受賞者の方々にもご出席を賜り、さらなる事業展開や活動規模の拡大などが図れる交流の場を提供しております。

### ■部門・表彰内容

- ・環境事業部門（事業者を対象）  
自社で開発した技術や製品・工法などにより環境改善に大きく寄与する一定の効果をあげている事業者を表彰
- ・環境活動部門（法個人、団体を対象）  
法人、団体、個人において組織として（個人の場合は個人として）環境問題を意識した活動等を通じて、一定以上の効果をあげている先を表彰
- ・環境アイデア部門  
地域住民から幅広く、環境問題改善に向けたアイデアを募集し、低コストかつ迅速に実現可能であり効果的なアイデアを表彰

今後も当金庫は「あましん グリーンプレミアム」を通じて、環境をテーマとした模範的な事業や活動にスポットライトを当て続け、環境意識の醸成への旗振り役としての立場を担い、地域発の事業や活動を応援し続けていきたいと考えております。

## エコな商品 エコなアイデア 大募集!!



### 第6回「あましん」グリーンプレミアム

温暖化や資源の枯渇、生物多様性の低下をはじめとする環境問題が深刻化している状況下において、環境改善に寄与する技術・製品・工法、取組みやアイデアの応募をお待ちしております。

応募期間

平成28年  
6月20日(月)  
8月31日(水)

応募資格

当金庫営業エリア内の法人・個人・団体で、環境問題への改善に大きく貢献している技術や製品、取組みやアイデアをお持ちの方。  
※応募資格に該当しない応募はご遠慮ください。

**賞金**

最優秀賞 賞金100万円(全部門を通じて1先)

部門賞

環境事業部門 賞金50万円(1先)

環境活動部門 賞金50万円(1先)

環境アイデア部門 賞金30万円(1先)

選考委員会特別賞 賞金10万円  
(複数受賞の場合もあります。抽籤選出による抽選となります。)

主催：尼崎信用金庫



## ○選定理由

- 近年、高齢化社会・人口減少の問題、また経済の再生という課題等がある中、特に地方経済の活性化が望まれており、地域金融機関が果たす地域経済への貢献が期待されている。地方経済の活性化のためには、地域金融機関は既存のビジネスモデルに頼る以外に、地域の産・官・学と連携するなど、対話・交流の場を設けることで新しいビジネスモデルを構築する等の取組が有効と考えられる。
- 同金庫の取組事例は、営業エリア内の法人・個人・団体を対象として、環境改善に寄与する技術や製品・工法・取組やアイデアを表彰するものだが、平成23年に開始されて以来、今年度で6回目を迎えている。のべ726件にもものぼる応募を受付、すでに地域に根差した取組となっており、その継続性と実績が評価できる。
- また、企業、団体、学校など多種多様な取組を表彰するプラットフォームの構築により、環境への取組の意識向上に繋がっている。本取組をきっかけに、地元企業との事業が拡大したり、新しい経済活動へ発展するなど地域産業発展への貢献も高く評価できる。
- 受賞事例には、同金庫が関わる財団の助成先やファンドの投資案件へと結びついた事例、海外向け商品や技術へのサポートといった事例等がある。一方、受賞できなかった団体ともタイアップして同金庫の植樹祭イベントを実施するなどの事例があり、同金庫による応募事例への金融面も含めたサポートが、地方創生に繋がる経済発展と環境配慮の同時達成に、本表彰制度が貢献していると判断できる。
- 同金庫による”地域発”の事業や活動を応援するという方針は、地域金融機関に求められる役割であると言え、他の地域金融機関にとっても大いに参考となり得る取組である。
- 以上の理由に加え、我が国における環境金融の普及・促進につながる好事例となることに期待を込めて、本事例を第5回グッドプラクティス最優良取組事例に選定した。

### 最優良取組事例選定委員会委員

委員長	UNEP FI特別顧問	末吉 竹二郎 氏
委員	慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科特任教授	小林 光 氏
委員	高崎経済大学経済学部教授	水口 剛 氏
委員	環境省総合環境政策局環境経済課長	奥山 祐矢 氏